

言葉が思いを繋ぐ

校長 堀野 智宏

思う心がイメージとなって口から出て、相手に気持ち伝わる。それが言葉である。

同じ単語であつても、心が発する音色や勢いによって、言葉はその瞬間の色と輝きを持つ。

周囲を明るく照らす言葉もあれば、闇に包んでしまう言葉もある。自分の思いを相手に正しく伝えることはとても難しく、自らの語彙の足りなさに

「思いや感情をそのまま相手に伝える方法があれば良いのに」と考える人も多いはず。

改めて考えてみてください。あなたは言葉を選んで発していますか。発する言葉は、正しくあなたの思いを伝えていますか。

感情に任せて、思ってもいない言葉を口にしていませんか。

一度口から出てしまった言葉を取り消すことは簡単ではありません。

「沈黙は金」とはよく聞かれる言葉です。しかし、黙っていてもわかりあえることはないです。

話さなければあなたの考えは相手に伝わりません。あなたの心の中はあなたしか分かりません。あな

たの思いは、言葉や態度にして伝えることで、初めて相手に伝わります。

よく、道端やスーパーなどで小さな子が泣きわめいていることを目にしますが、子どもの頃は思いを上手く言葉にできず、相手に伝わらないもどかしさから、泣いて訴えるしかないのだと思います。

かくも、自分の思いを正しく言葉で表現するのは難しいものなのです。

私たちは普段から何気なく言葉を話していますが、

「言葉を話す事」イコール「気持ちを正確に伝える事」とは限りません。

言葉を話し始めた赤ん坊の様に、始めはたどたどしいですが、そのうち慣れていきます。

それと同じく、自分の気持ちを正しく言葉にするには、トレーニングが必要なのです。

言葉はコミュニケーションの大切なツールです。

でも言葉だけでは正しく伝わらないこともあります。

そこで、人は表情や身振りなどを駆使します。

文字だけでは伝わらない思いも、

言葉と表情で補うことができます。決して、他人や自分を傷つけるためのものでは無いのです。

正しく伝え  
あなたの思いが周りを幸せにする  
ことを願います。

あなたの幸せは周囲の人の幸せです。

笑顔にあふれたあなたの思いは、  
きっと周りを幸せにします。

世の中には「〇〇の人が嫌い」と  
言う人が少なからずいます。

特定の人の事でなく、集団を指して「嫌い」という場合、イメージが先行していて、そこにいる個人の事をよく知らない場合が多いと思います。

そこにいる人のことをどれだけ知って「嫌い」と判断しているのでしょうか。

嫌いとは判断する前に、まずは、その人を知ることから始めてはどうでしょう。

そして、その人のことを知るのであれば、「好き」から入ってみてください。

どうか忘れないでください。

あなたの口から発せられる言葉は、  
だれかの不安を取り除き、大切な人に思いを伝え、心を通わせるためにあります。